2019年度第2回豊岡市障害者自立支援協議会全体会議 会議録要旨

注) 会議録については、発言内容を一言一句正確に整理したものではありません。

発言内容をもとに一部表現(文言)を変えて表記している箇所があります。

○日 時：2020(令和2)年3月27日(金)10:30～11:30

○会 場：豊岡市役所立野庁舎1階多目的ホール

○出席者：16名

○欠席者：5名

○会議要旨

1 開 会

2 あいさつ

3 新しい委員の紹介

4 報告・協議事項

(1) 部会及びグループの取組みについて

① しごと部会

② こども部会

③ せいかつ部会

④ 相談支援グループ

・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答

【K委員】

障害支援区分3の方の生活支援を行った際に、せいかつ部会で取組みを行っていただいたおかげで比較的スムーズに住まいを探すことができた。今回の場合でも相談支援専門員は、入居後の支援も考えて障害福祉サービス等のコーディネートに悩まれていたことから、障害支援区分が高い方の入居支援も必要であると思う。

今年度でプロジェクトチームは終了とのことだが、具体的な事例の検討を通じて、各機関で「できること」や「できないこと」を整理するとともに、インフォーマルな支援の情報をもとに、支援を組み立てることは支援者のスキルアップにつながると思うので、今後も情報交換や情報提供を行ってほしい。

(2) 運営会議からの報告について

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答

【副会長】

障害者自立支援協議会の10年の取組みのまとめを作ることはよいと思う。社会福祉分野においては、課題に目が向けられる傾向があるが、10年間の中で「うまくいったこと」や「よかったこと」をなるべく取り上げて記載してほしい。

個人的には10年間、地方都市でありながらここまでの取組みをされていることは、素晴らしいことだと思う。その取組みを通して、まだ残されている課題を見つめていくことが大事である。

協議会でまとめをしていただいて、私が受け持つ部分についてはコラム的な感じにしたいと考えている。役割分担については、今後会長や事務局と相談したい。

協議会でも活発なご意見をいただいているので、皆さんのご意見を報告書に反映できるようにしたいと考えているので、作成の際に協力をお願いします。

ミニシンポジウムについても、これから色々なアイデアを出してもらい、形式ばったものではないものにしてほしい。

(3) 地域生活支援拠点等の整備について

- ・ 資料に基づき説明

○ 質疑応答

【E委員】

相談支援については、相談支援グループからの説明でもあったが、計画相談、委託相談ともに厳しい状況であり、戦略的に相談支援の意識改革や体制整備をしないと厳しいと感じた。

【G委員】

豊岡市は面的整備とのことであるが、核となる機関は必要と思う。市内に多くの事業所がありそれら全部を面的にとらえるのであれば、「全体を繋ぐための役割分担を明確にすること」と「それを繋ぐセンター機能」が必要である。基幹相談支援センターや北但広域療育センターなどの既存の施設の強みを整理した上で、それらをしっかりとつなぐ仕組みを明確にしてほしい。そうすることで利用者や支援者の安心につながると思う。

また、どこも担っていない分野や豊岡にないものが明らかになるので、それをまた全体で優先順位を考えながら取組みを進めてほしい。

【副会長】

何をもって機能を整備されたかという基準を定めることは大変難しい問題だと思う。

何らかの基準については、これまで協議会等で議論された事例や項目を、数量的に計ることも方法として考えられる。

ちょうど障害3計画策定の年度になっているので、策定委員会に意見を提案するときに、整備の基準を議論することや10年間の取組みの報告書の中で、整備の今後の方向性の記載をすることも1つの方法だと思う。

いろんなご意見があると思うが、これまでの色々な議論をベースに考えた方がよいと思うので、これからも議論をしてほしい。

5 その他

6 閉 会